

女性活躍推進フォーラム

4グループが企画提案

最優秀に「企業合同研修制度」

今年度最終回の「第5回女性活躍推進フォーラム in 東京」(人材育成委員会主催)が1月27日、東京・日本橋三洋グループビル会議室で開催された。昨年11月の第3、4回に続いて4グループ計17人(17社)の女性正社員が参加した。

桑野麻衣氏が講演

印象度アップの実践講座

実務講座では、企業研修、各種セミナー、イベント司会などフリーで広く活躍している桑野麻衣氏が「印象度アップ実践講座」と題して講演した。桑野氏は、参加者による第一印象の相互チェックから始めて、第一印象をつくり出す要素として身だしなみ、表情(笑顔)、あいさつ、立ち振る舞い、言葉遣いの5要素を挙げ、とくに身だしなみ、表情について、いかに好感を与えるかをいろいろな角度から解説した。



◀桑野麻衣氏



桑野氏の話に聴く参加者たち

今年度最終回の「第5回女性活躍推進フォーラム in 東京」(人材育成委員会主催)が1月27日、東京・日本橋三洋グループビル会議室で開催された。昨年11月の第3、4回に続いて4グループ計17人(17社)の女性正社員が参加した。

イフ・バランス」の2テーマに沿ってプレゼン案をまとめた。プレゼンには社員を派遣した企業の人事、総務などの担当者も招かれ、企画の成果を確認した。

歳未満の未就学児を持つ女性社員への支援制度」、Dグループ「働く女性!絆で繋がる!高め合う!」となっていた。審査の結果、Bグループが最優秀提案として表彰された。

最優秀Bグループ

他社との横のつながり

Bグループの提案は、女性管理職を増やし、女性が長く充実して働ける環境をつくること为目标。非管理職の女性を対象に、①機械トラブル対応など女性が弱い分野のスキルアップ ②指導力を磨くなどのモチベーションアップ ③



最優秀賞を受けたBグループの発表

マナー研修——を実施する。企業横断的に女性社員を集め、社歴に応じて初級、中級、上級に分ける。苦手を克服し知識をつけることで自信が付き、他社との横のつながりで共感・情報共有ができ、安心感につながるとしている。懸案として研修参加者のシフト補充の問題を挙げている。

佐藤聖子広報調査委員会副委員長が女性の立場から講評した。最後に場所を変えて交流会が開かれ、食事と会話を楽しみながら人脈づくりに励んだ。

□フォーラムの参加者

(順不同、敬称略、(株)略)

- ▽Aグループ 大楠友里(愛和食品)、櫻井詩織(善都)、戸田有希乃(ニラク)、加藤千晃(ピーアークホールディングス)、崎田亜美(メッセ)
- ▽Bグループ 佐藤綾香(東和産業)、小林美和(NEXUS)、小倉綾夏(平成観光)、岡田歩惟(山佐産業)
- ▽Cグループ 杉山理々(ABC)、宮城彩奈(日進)、久保麻里菜(日拓ホーム)、甲斐絵里子(マルハン)
- ▽Dグループ 新井唯(オータ)、時直子(サンキュ)、原田穂乃佳(ジャパニユールファ)、湊奈津希(ジャパネットワークシステム)